川崎巳三郎　かわさきみさぶろう　経済評論家。明治二十八年十一月二十九日千葉県生れ（一九〇五―）。筆名河本勝吾。昭和八年東京商科大学卒。日本プロレタリア科学研究所所員、雑誌『労働』、『経済評論』編輯部員となり、日本資本主義論争では講座派の先鋒。十二年企画院嘱託、十四年満鉄（南満洲鉄道株式会社）調査員となり、十八年企画院事件に連座し投獄。戦後日本共産党中央機関紙編集委員、雑誌『前衛』編集長。著書『マルクシズムに対決するもの』批判と反批判』（今井清一・河野密共著、昭和二十四年八月十五日労働文化社）、『恐慌』（昭和二十四年十一月十五日岩波書店「岩波新書」）等。